

中津で初 回復期リハビリテーション開院

川島整形外科病院 多年念願が実現

ケアミックス病院で再出発

眞之院長が今後の展望記

患者様も便利 転院せず地元で継続

川島整形外科病院の長年の念願であった中津市初の回復期リハビリテーションが4月1日から隣接した新病棟で開院した。最終的には50床で運用する予定だが、治療の内容などについては川島眞之院長に原稿を寄せてもらった。

回復期とは、帰に向けてリハビリテーションや脳卒中などで急性期の治療を終えた後、在宅復

した長期間の入院は、事実

上、不可能となっております。したがって回復期リハビリ病棟を開設することにより、急性期の治療後も当院において継続した療養が可能になります。

もちろん回復期リハビリ病棟でも入院期間は無制限というわけではなく、入院対象疾患にも制限があります。整形外科疾患では大腿



本館と3階で結ばれている

要することが多くなっているため、そのような患者さんには地域包括ケア病棟でリハビリ等の療養を行っていただくことが可能です。

今回、回復期リハビリ病棟を開設することにより、当院は急性期病棟（62床）、地域包括ケア病棟（31床）、回復期リハビリ病棟（50床）、そして各種介護施設を有す

今回の回復病床は50床

骨骨折や脊椎骨折、骨盤骨折、脊髄損傷、下肢人工関節置換術後などが入院適応となりますが、下腿や上肢

るケアミックス病院として新たなスタートを切ることとなります。

の骨折では対象外となります。しかし、超高齢社会となった現在、後者の疾患でもある程度、長期の療養を

市内には回復期リハビリ病棟が全くなく、近隣でも十分な数の回復期病床がありませんでした。そのため

院での急性期の治療が終了すると、リハビリ目的の療養を必要とされる患者さんは、リハビリ可能な介護施設に入所していただくか、遠方の回復期病棟を有する病院に転院していただくことが多く、またその入所・転院調整に難渋することが多々ありました。

今後は地域の皆様に、住み慣れた地元で在宅復帰に向けてのリハビリを十分に行う環境を提供させていただくことが可能になると思います。

一方、職場環境という点では、各職種において急性期から慢性期までの幅広いキャリアによるスキルアップが可能となるほか、育児や介護などライフスタイルの変化に伴ってのキャリアチェンジが可能になるかと思えます。

開設当初は不慣れな点などで混乱したりご迷惑をおかけしたりすることもあるかと思いますが、新たな挑戦に職員一同、精一杯頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。



4月1日から開院した川島整形外科病院の西側に開院した回復期リハビリテーション病棟

病棟（一般病棟）においては制度上入院期間に厳しい制限があるため、リハビリを目的と

病棟（一般病棟）において、入院期間は厳格に制限があるため、リハビリを目的とする

病棟（一般病棟）において、入院期間は厳格に制限があるため、リハビリを目的とする

病棟（一般病棟）において、入院期間は厳格に制限があるため、リハビリを目的とする